

産経ニュース

検索

フォトジャーナル

ホーム

産経写真部

パノラマ写真

サッと見ニュース

読んで見フォト

動画

インフォ

ランキング

スゴい!

フォトジャーナル (PR)

報道写真の現場からニュースをお届け

時事

スポーツ

イベント

自然・風景

乗り物

生き物

エンタメ

もっと

生き物

# 「さくらねこ」と「アート」の島 香川・男木島

2017.2.6 02:22

ツイート [反応](#)

[おすすめ](#) 740

[G+](#) 1

85



「さくらねこ」同士で朝のあいさつ? 港付近で暮らす猫たちは穏やかな時間を過ごしていた=1月27日、香川県高松市の男木島 (尾崎修二撮影)  
キヤノン EOS-1D X Mark II : EF24-105mm F4L IS USM



香川県・高松市からフェリーで約40分の瀬戸内海に位置する男木島(おぎじま)は、周囲5キロ弱、人口200人に満たない島だが、ある特定の時期、大勢の観光客が一斉に押し寄せ、瀬戸内の島々を会場として開催される「瀬戸内国際芸術祭」の舞台の一つとなっているからだ。2010年から3年に一度開催されている現代アートの国際イベントで、昨年の男木島への来場者は春・夏・秋108日間の開催期間中、500人以上に上った。

## 実は「猫島」



そんなアートの島・男木島だが実は古くから知る人ぞ知る「猫島」でもある。多いときには住民の数を上回る猫が、島のあちこちを自由気ままに歩き回っていたという。インターネットによるSNSなどの普及に伴い、猫好き旅行者の来島も増加傾向に。

しかし、観光客の過度な給餌行為が猫の増加に拍車をかけ、島の住民からは鳴き声や悪臭などに対する苦情も聞かれるようになった。そして昨年、公益財団法人「どうぶつ基金」(兵庫県芦屋市)による猫たちへの大規模な不妊手術が実施された。

同基金が行うTNRと呼ばれる活動は、Trap(捕獲)・Neuter(不妊手



## 五輪・パラリンピック

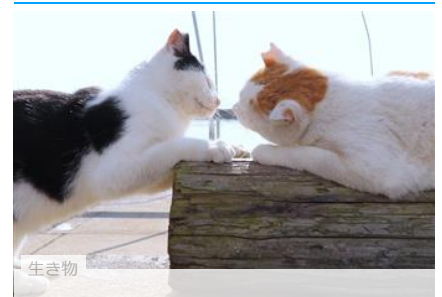


スポーツ

笑顔満開!スマイルジャパン 平昌五輪日本勢第1号!



## 肉球マニアに捧ぐ

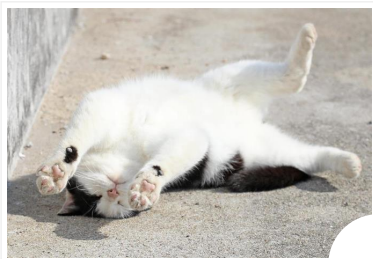


生き物

「さくらねこ」と「アート」の島 香川・男木島



術)・Return (猫を元の場所へ)の頭文字で、飼い主のいない猫に処置を施すことによって猫の増え過ぎに歯止めをかけ「殺処分という最悪の結果をゼロにする」ことを大きな目標に掲げる。

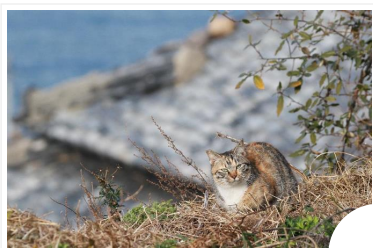


施術後の猫は、再度捕獲され手術されたりすることのないように、見分けをつける目印として、耳の先をV字にカットされ、その形が桜の花びらのように見えることから「さくらねこ」と呼ばれる。かれらは一代限りの命を、人々に見守られながら全うすることになる。同基金の佐上邦久理事長(57)によると、2015年度、全国各地で不妊手術を施した猫は8000頭を超え、16年

度にいたっては1万6000頭に上る見込みだという。「TNR後の猫たちは皆、性格が穏やかになり、ケンカも減ります。その結果、ケガや病気のリスクも減少し、寿命も延びます。猫と人の共存のためにも、TNRが現在考えられる最善の策。それも、『すぐやる・ぜんぶやる・続けてやる』の三つを守ることが成功への絶対条件」。佐上理事長は言葉に力を込める。

出来るだけ早く、その場所の全ての猫に不妊手術を行い、捕獲しきれなかった猫や、新たに加わった猫がいることを想定して複数回にわたり実行することで、大きな成果が得られるのだという。

## 猫が悪いんじゃない



そもそも、猫が増えすぎてしまうのは、決して猫たちが悪いのではなく、人間による過度の給餌等による繁殖促進や「かわいそうだから」と際限なく受け入れた結果の多頭飼いや崩壊などなど…いずれも人間の責任によるところが大きい。その結果が「殺処分」では、あまりにむご過ぎる。

取材当日は数組の観光客が、冬の陽光を浴びながら眠る猫の姿を撮影するなどして楽しんでた。兵庫県の男性、東京から友人と来た女性、どちらも「(来島の目的は)猫。高松でうどんを食べて、その後は猫を見る島めぐりです」と声をそろえる。

## 人と猫の幸せな共存へ



港でしゃがみ込んでカメラを構えていると、漁具の片付けをしていたお年寄りが声をかけてきた。「2月に向けてこれから見頃のスイセンも見ていきなさい。猫もかわいかるうけど、花もきれいだよ」と笑う。

夫の哲夫さん(63)と夫婦で「民宿さくら」を営む女将の大江和美さん(56)は「芸術祭の時期はほぼ満室になります。それ以外だと最近、猫目当てのお客さんが本当に増えました」と話す。TNRの際には獣医やスタッフ、ボランティアらが宿泊したそうで、島の猫について聞くと「(不妊手術後)猫は全体的におとなしくなったように思う。」という答えが返ってきた。

TNRの結果を受け「さくらねこ」となった男木島の猫たちは、将来的にはその数を徐々に減らすことになるかもしれない。だが、今ここにある命の輝きは失われることなく、おだやかに一生を全うするだろう。幸せに生きる権利が島の猫たちには、ある。そしてそれを見守る人たちが、そこにいる。

## 始球式



## 福島から



【福島から#19】 走りだせ、常磐線新地駅から



## 政府専用機・特別機

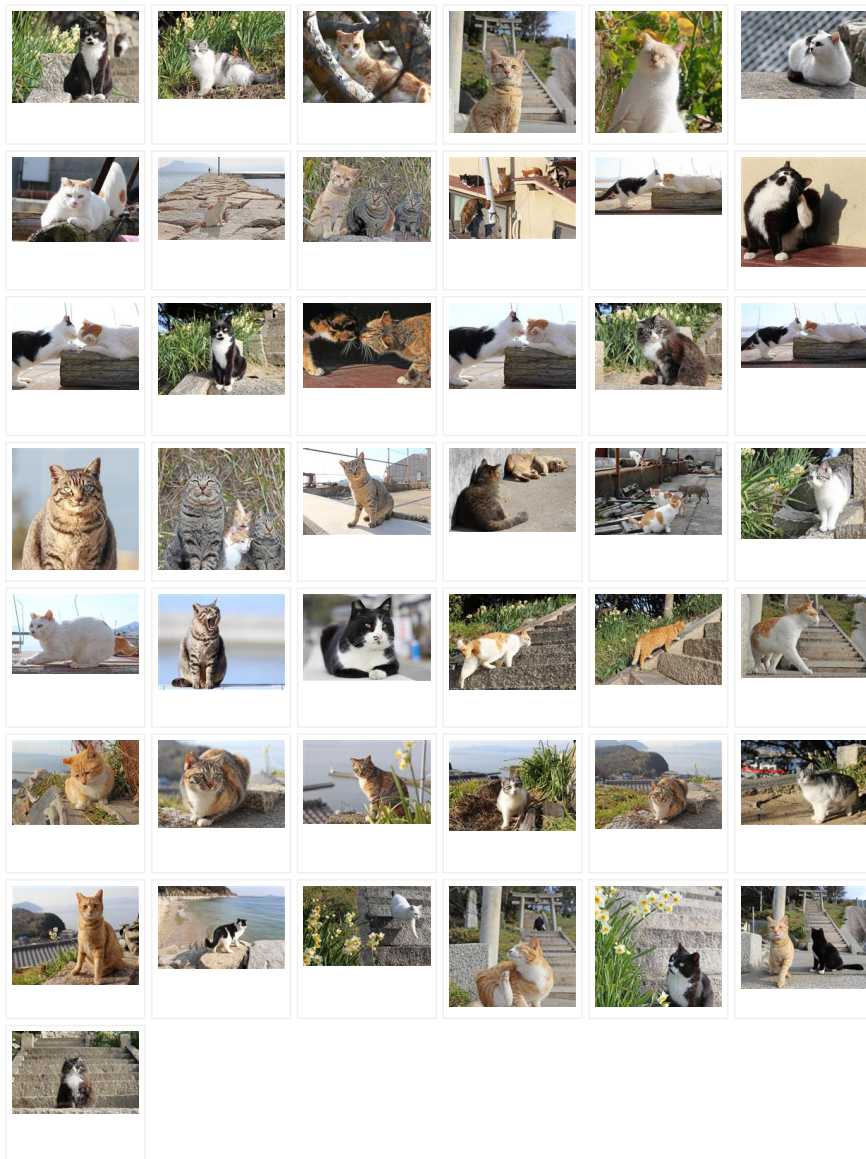


【大山文兄のV1ウオッチ#29】 空飛ぶ“クレムリン”がやってきた!



→【肉球マニアに捧ぐ】これまでの記事←

この写真がスゴい!



生き物

もっと見る



「さくらねこ」と「アート」の島 香川・男木島

2017.2.6 02:22



トキ、求愛の「枝渡し」 佐渡島

2017.2.2 06:35



カピバラが恵方巻を丸かぶり

2017.2.1 18:07



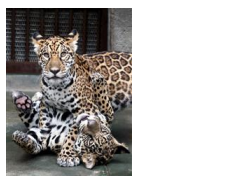
秋色に染まる「猫寺」 福井・御誕生寺

2016.12.1 05:30



元気な猫と海の幸を満喫して 福岡・地島

2016.11.24 03:00



ジャガーの“十勇士”双子の赤ちゃん命名式 天王寺動物園

2016.11.23 21:23

猫濃度、高め 絶景もスゴい 福岡・相島

朝の光に翼広げ 新潟・瓢湖にハクチョウ飛来